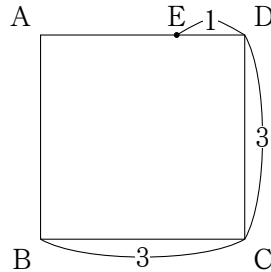


2022年度 金沢医科大学 前期2理系 第1問

問題 図のような、1辺の長さが3の正方形 ABCD がある。また、この正方形の辺上を動く点 P が A の位置にある。1個のさいころと1枚の硬貨を同時に1回投げる試行に対して、P は次の規則に従うものとする。

- 硬貨の表が出るとき、さいころの目と同じ長さを時計回りに動く。
- 硬貨の裏が出るとき、さいころの目と同じ長さを反時計回りに動く。



(1) この試行を2回続けて行ったとき、P が C の位置にある確率は $\frac{\text{ア}}{\text{イウ}}$ である。

(2) この試行を2回続けて行ったとき、P が B の位置にある確率は $\frac{\text{エ}}{\text{オカ}}$ である。

(3) この試行を3回続けて行ったとき、P が常に反時計回りに動いて、図の点 E の位置にある確率は $\frac{\text{キ}}{\text{クケ}}$ である。

(4) この試行を3回続けて行ったとき、P が A の位置にある確率は $\frac{\text{コサ}}{\text{シスセ}}$ である。

S.kanazawaika2022A2.01.pbm